

令和2年度
網走市における景気動向調査
<第Ⅱ四半期>

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第1章 調査要領

- 1-1. 調査時点及び調査対象期間.....1
- 1-2. 調査対象.....1
- 1-3. 調査方法.....1
- 1-4. 回収状況.....1

第2章 概況

- 2-1. 全体の動き.....2
- 2-2. 業種別の動き.....3

第3章 各判断項目回答割合と天気図

- 3-1. 記号説明.....4
- 3-2. 各業種の動向.....4
- 3-3. 採算.....10

第4章 産業別経営上の問題点

- 4-1. 回答実数.....11
- 4-2. 回答割合.....11

第5章 産業別設備投資の状況.....12

第6章 業界の景気動向等その他のご意見.....13

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点: 令和2年7月1日(水)～2年9月30日(水)

(2) 調査対象期間: 令和2年7月～9月期実施、及び令和2年10月～12月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(40件)、サービス業(44件)の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

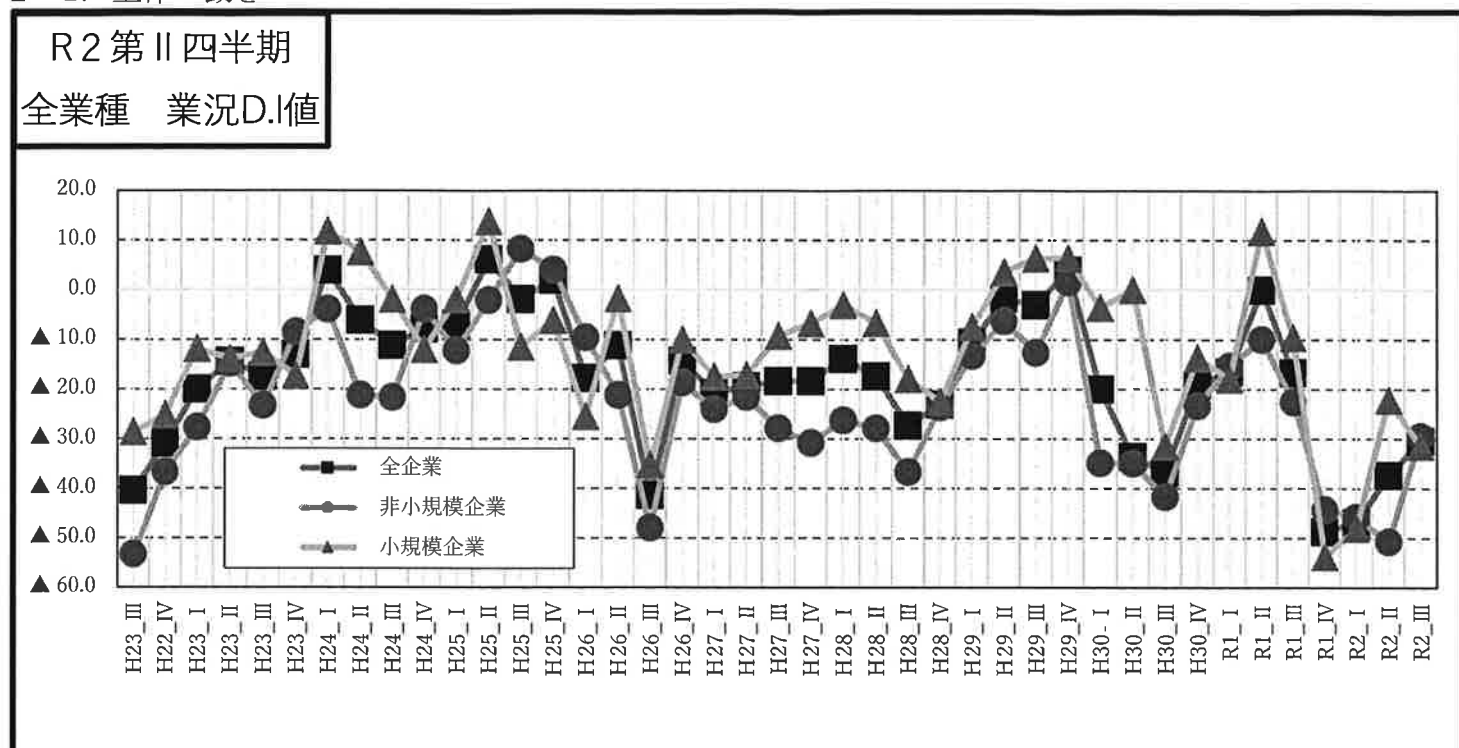
調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

1-4. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業		30件	26件 (非小規模企業: 13件) (小規模企業: 13件)	86.7%
製造業		24件	19件 (非小規模企業: 10件) (小規模企業: 9件)	79.2%
卸売業		20件	13件 (非小規模企業: 8件) (小規模企業: 5件)	65.0%
小売業		40件	28件 (非小規模企業: 15件) (小規模企業: 13件)	70.0%
サービス業		44件	30件 (非小規模企業: 16件) (小規模企業: 14件)	68.2%
合計		158件	116件	73.4%

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和2年度第Ⅱ四半期（7月～9月）の業況は、前年同月比で「好転企業」11.2%「悪化企業」48.3%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I値は▲37.1、前期と比較して21ポイント好転しました。

業種別で見た業況は建設業が0.6ポイント改善し▲15.4、製造業は8.8ポイント改善し▲57.9、卸売業18.7ポイント改善し▲38.4、小売業17.9ポイント改善し▲53.5、サービス業48.3ポイント改善し▲26.7と全ての業種で好転傾向を示し、特に卸売業、小売業、サービス業は大きく改善しました。

次期（10月～12月）の業況判断D.I値は、今期と比べ6.7ポイント改善し、▲30.4を予想しております。業種別では建設業19.3ポイント悪化し▲34.7、製造業42.1ポイント改善し▲15.8、卸売業15.3ポイント悪化し▲53.8、小売業17.8ポイント改善し▲35.7、サービス業6.0ポイント悪化し26.7、第Ⅱ四半期との比較で悪化しているところが多く、深刻的な状況が続いています。

今期の課題として「売上の不振」「得意先減少」を問題にしている企業が増えています。また、今期の特徴として「人件費増」「諸経費増」が減少傾向にあります。

全体としては、R1 第Ⅳ四半期から R2 第Ⅰ四半期にかけ新型コロナウイルス感染症の影響により悪化傾向を示す企業が多くなりました。今期は大きく改善傾向を示しましたものの4期連続でマイナス水準になり、依然として不透明感が強く、予断を許さない状況にあります。

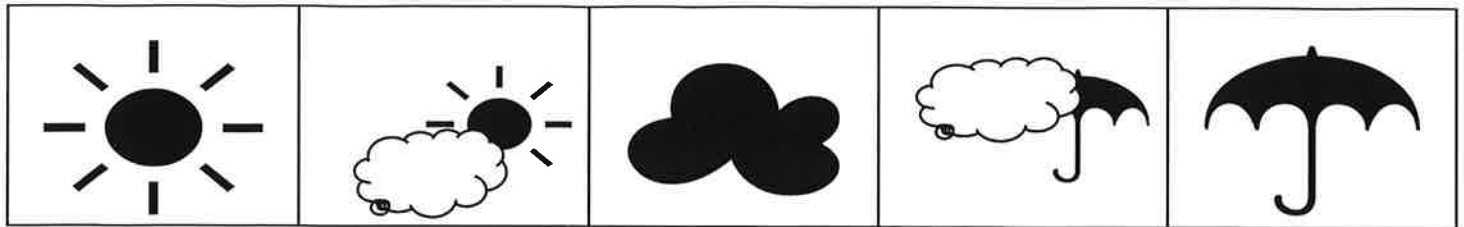
全業種とも経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

業 種	規模/項目	売上高 (完成工事高)			採算			次期 (D.I値)		
		増 加	減 少	DI値	増 加	減 少	DI値	業 況	売 上	資金繰
建設業	小規模	15.4	23.1	▲ 7.7	23.1	23.1	0.0	▲38.5	▲38.5	▲ 7.7
	非小規模	0.0	53.8	▲53.8	0.0	30.8	▲30.8	▲30.8	▲15.4	▲ 7.7
	全 体	7.7	38.5	▲30.8	11.5	26.9	▲15.4	▲34.6	▲26.9	▲ 7.7
製造業	小規模	11.1	66.7	▲55.6	11.1	66.7	▲55.6	▲22.2	▲22.2	▲33.3
	非小規模	10.0	70.0	▲60.0	10.0	60.0	▲50.0	▲10.0	▲10.0	0.0
	全 体	10.5	68.4	▲57.9	10.5	63.2	▲52.6	▲15.8	▲15.8	▲15.8
卸売業	小規模	40.0	40.0	0.0	20.0	40.0	▲20.0	▲60.0	▲60.0	▲40.0
	非小規模	12.5	75.0	▲62.5	0.0	50.0	▲50.0	▲50.0	▲62.5	▲25.0
	全 体	23.1	61.5	▲38.5	7.7	46.2	▲38.5	▲53.8	▲61.5	▲30.8
小売業	小規模	7.7	46.2	▲38.5	0.0	46.2	▲46.2	▲15.4	▲23.1	▲30.8
	非小規模	0.0	73.3	▲73.3	0.0	53.3	▲53.3	▲53.3	▲60.0	▲13.3
	全 体	3.6	60.7	▲57.1	0.0	50.0	▲50.0	▲35.7	▲42.9	▲21.4
サービス業	小規模	21.4	50.0	▲28.6	14.3	28.6	▲14.3	▲35.7	▲21.4	▲14.3
	非小規模	12.5	56.3	▲43.8	18.8	50.0	▲31.3	▲ 6.7	▲13.3	▲26.7
	全 体	16.7	53.3	▲36.7	16.7	40.0	▲23.3	20.7	▲17.2	▲20.7

第3章 各判断項目回答割合と天気図

3-1. 記号説明



とくに好調
(D.I. ≥ 50)

好 調
($50 > D.I. \geq 25$)

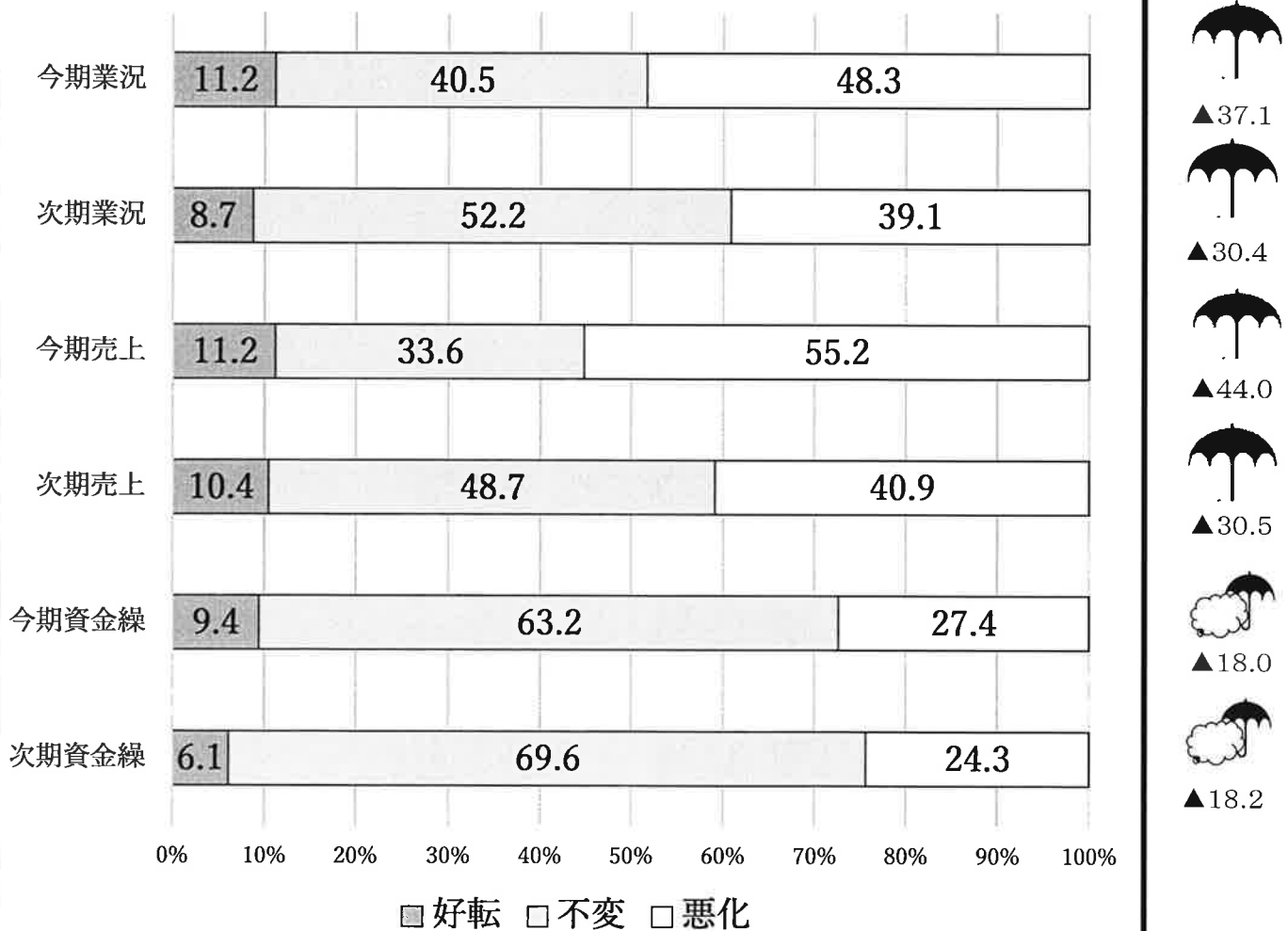
まあまあ
($25 > D.I. \geq 0$)

不 振
($0 > D.I. \geq \blacktriangle 25$)

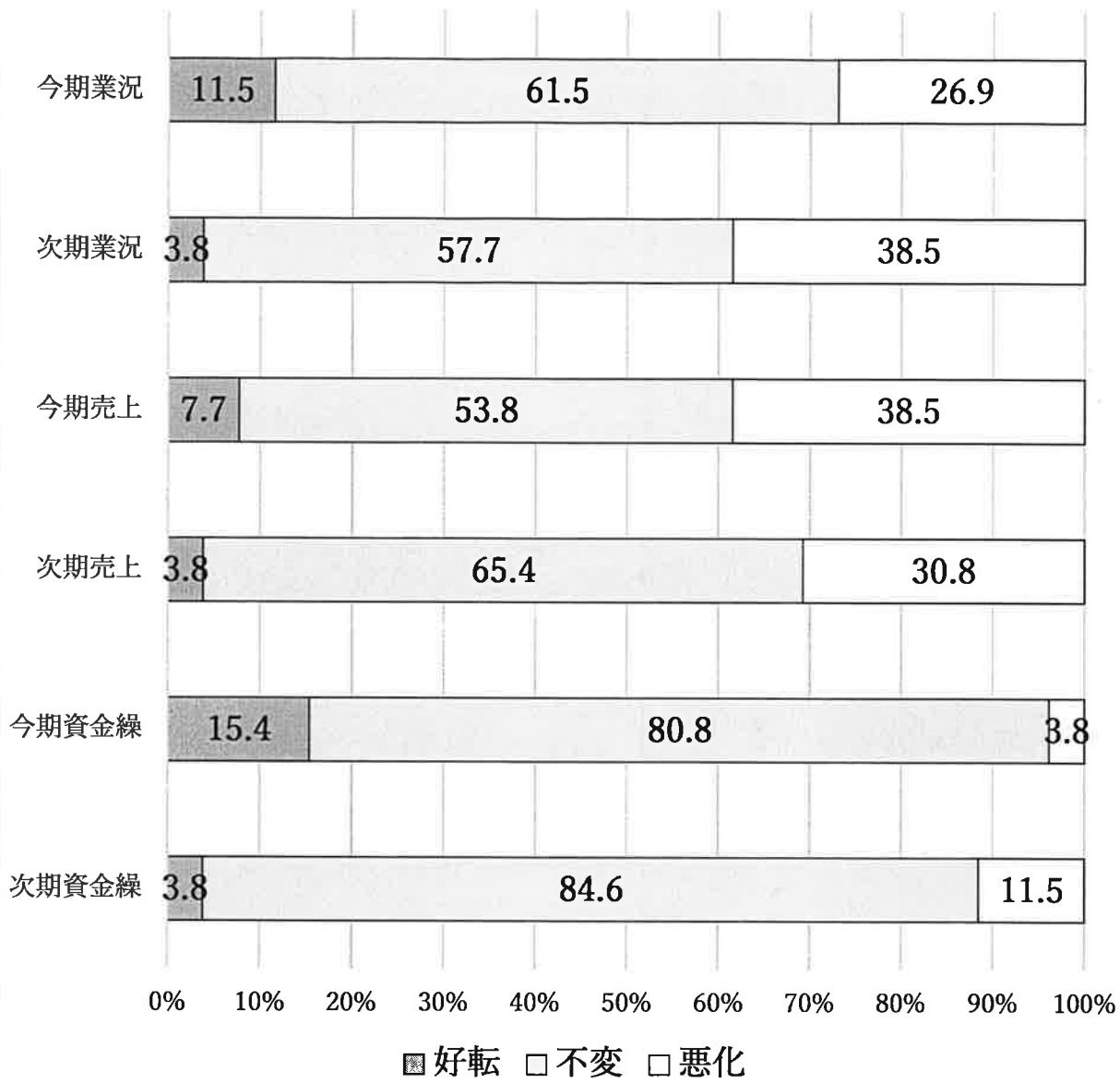
きわめて不振
($\blacktriangle 25 > D.I.$)

3-2. 各業種の動向

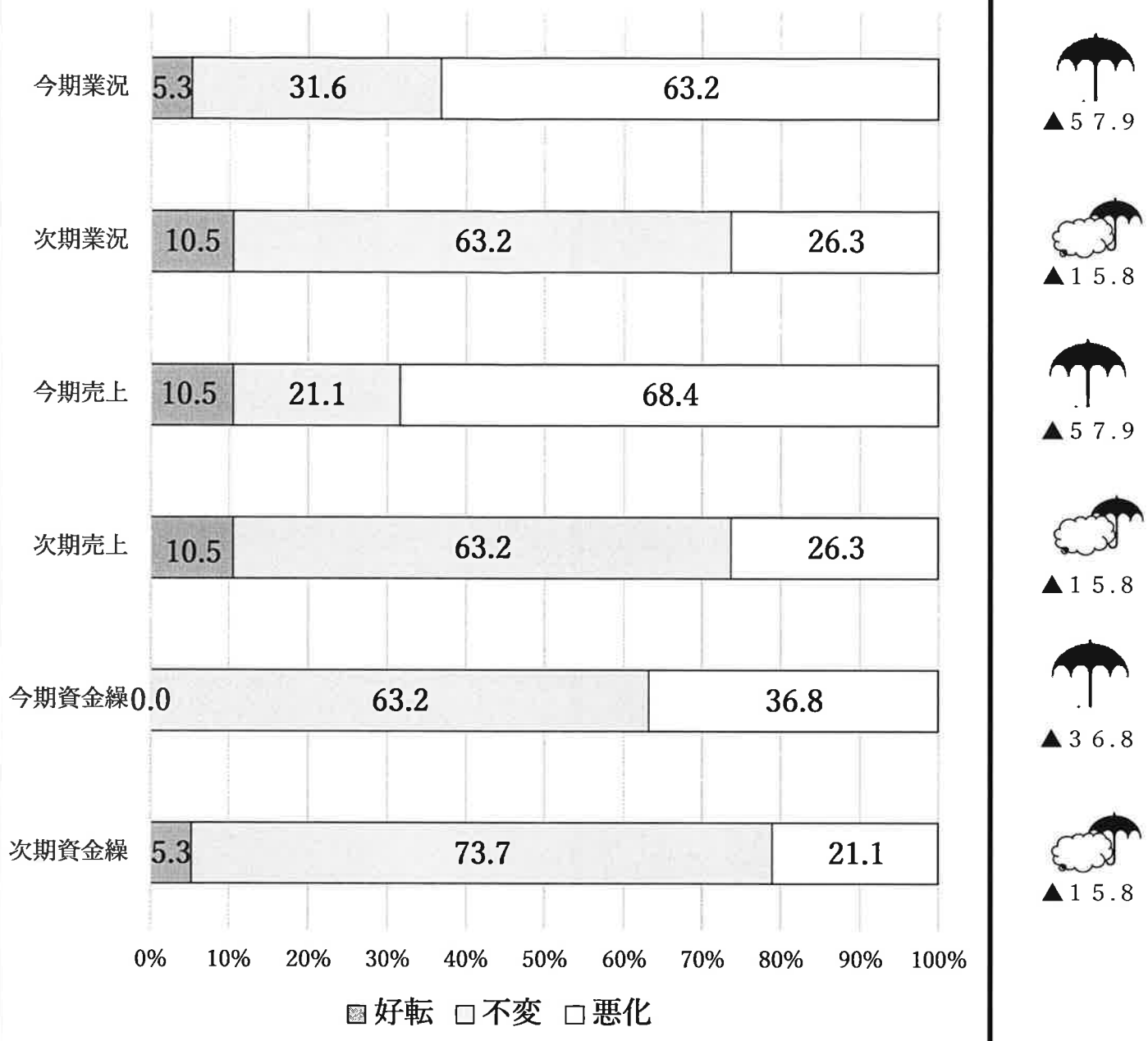
<全業種>



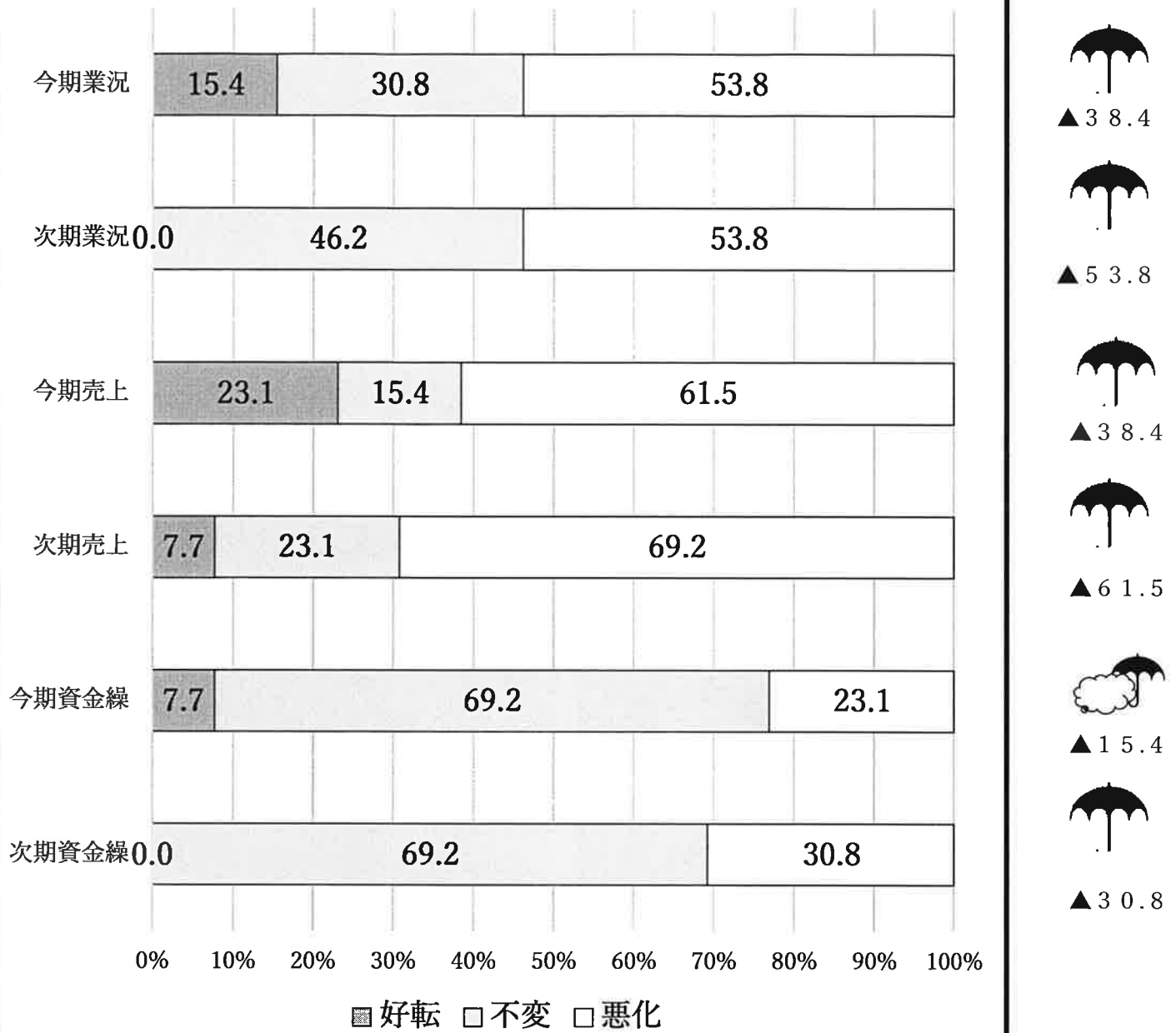
<建設業>



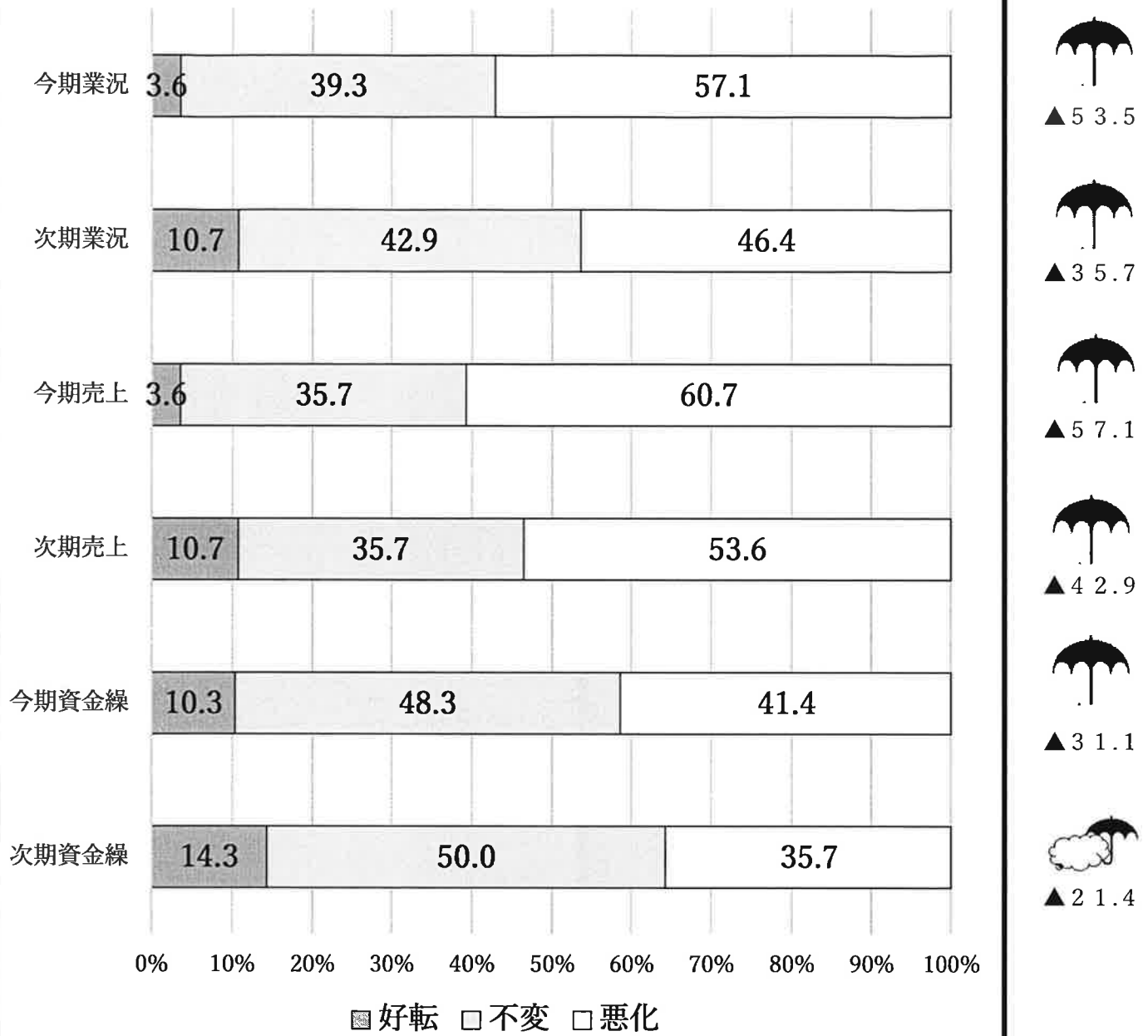
< 製造業 >



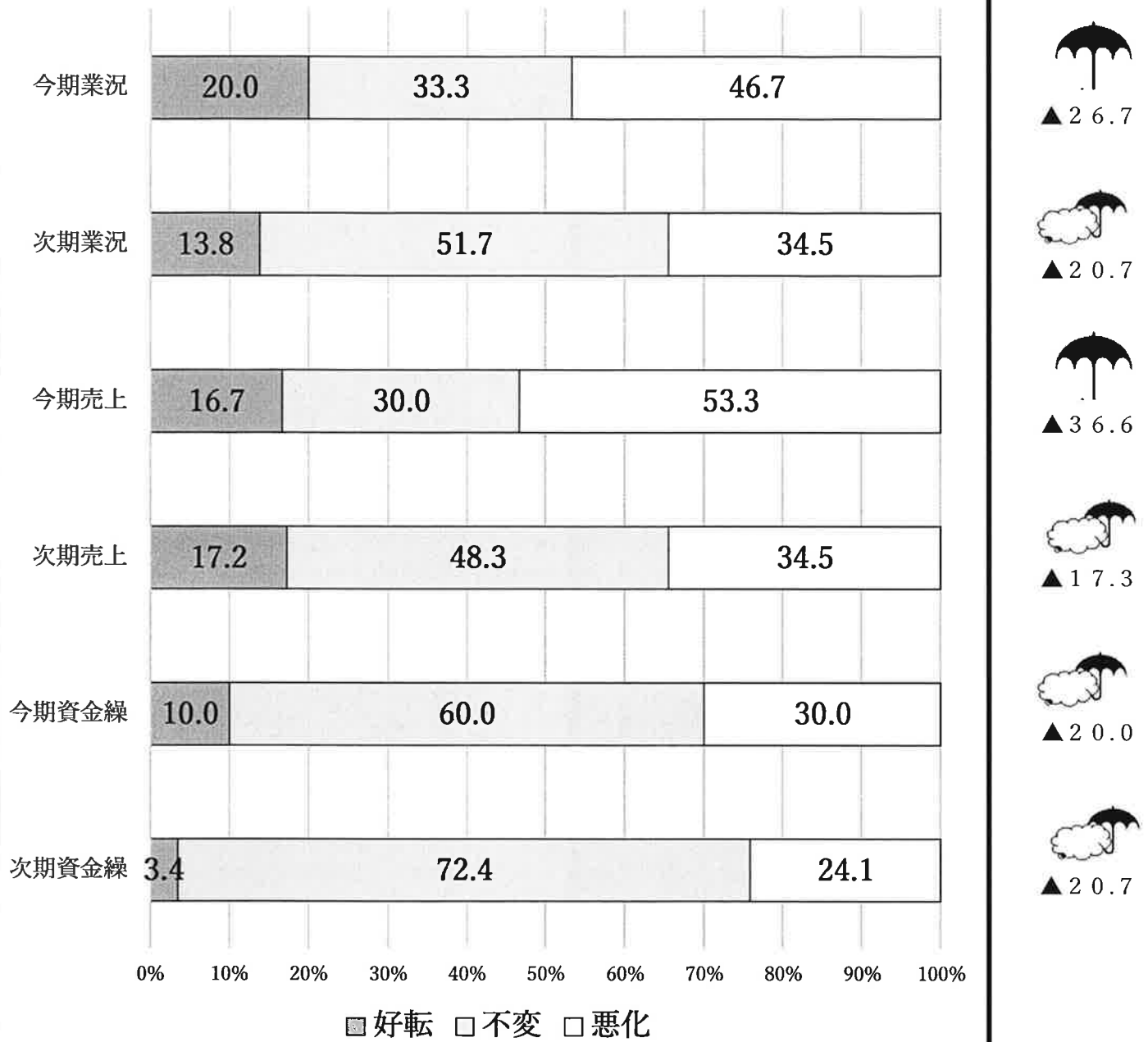
<卸売業>



<小売業>

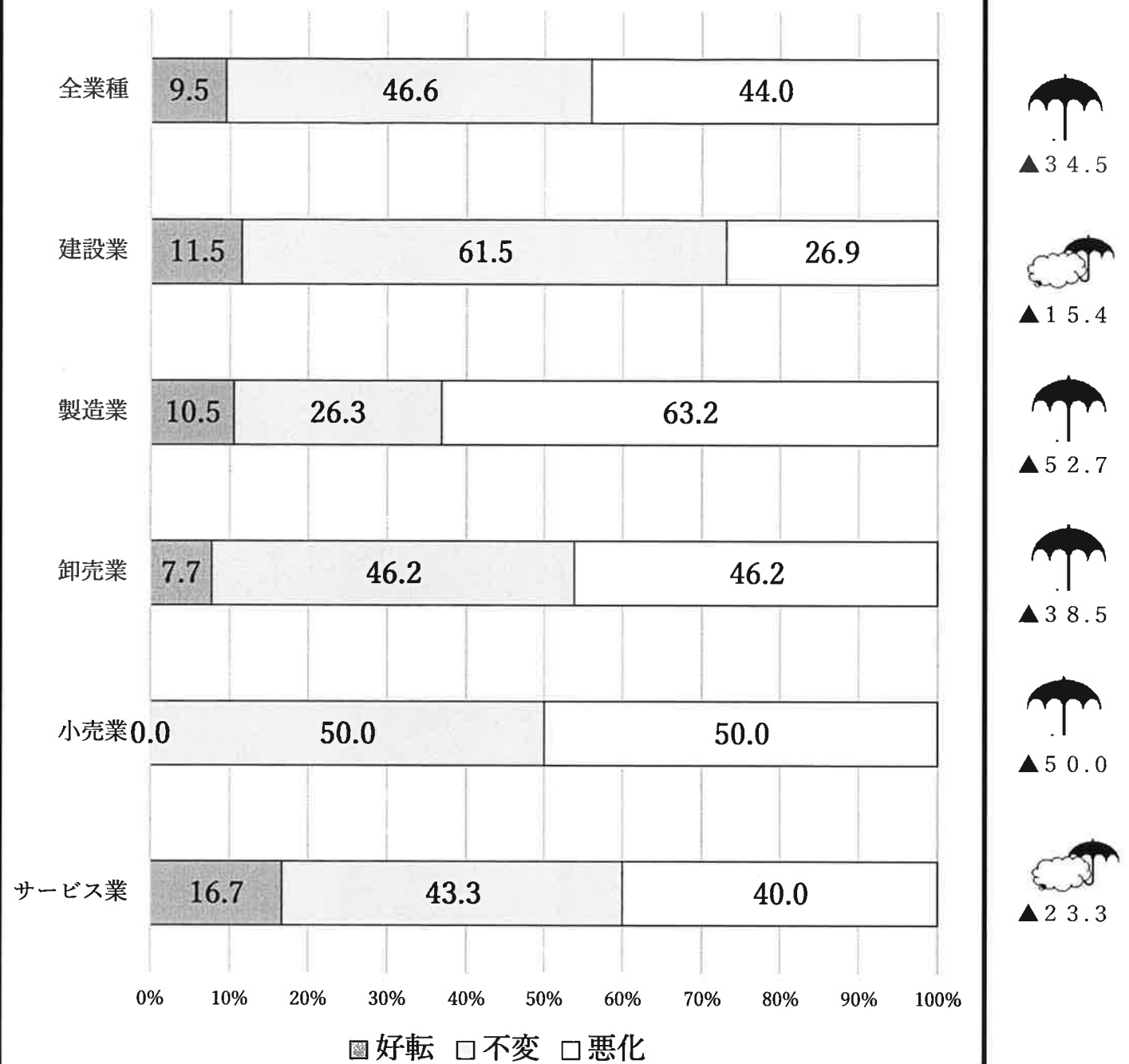


<サービス業>



3-3. 採算

今期の採算<業種別>

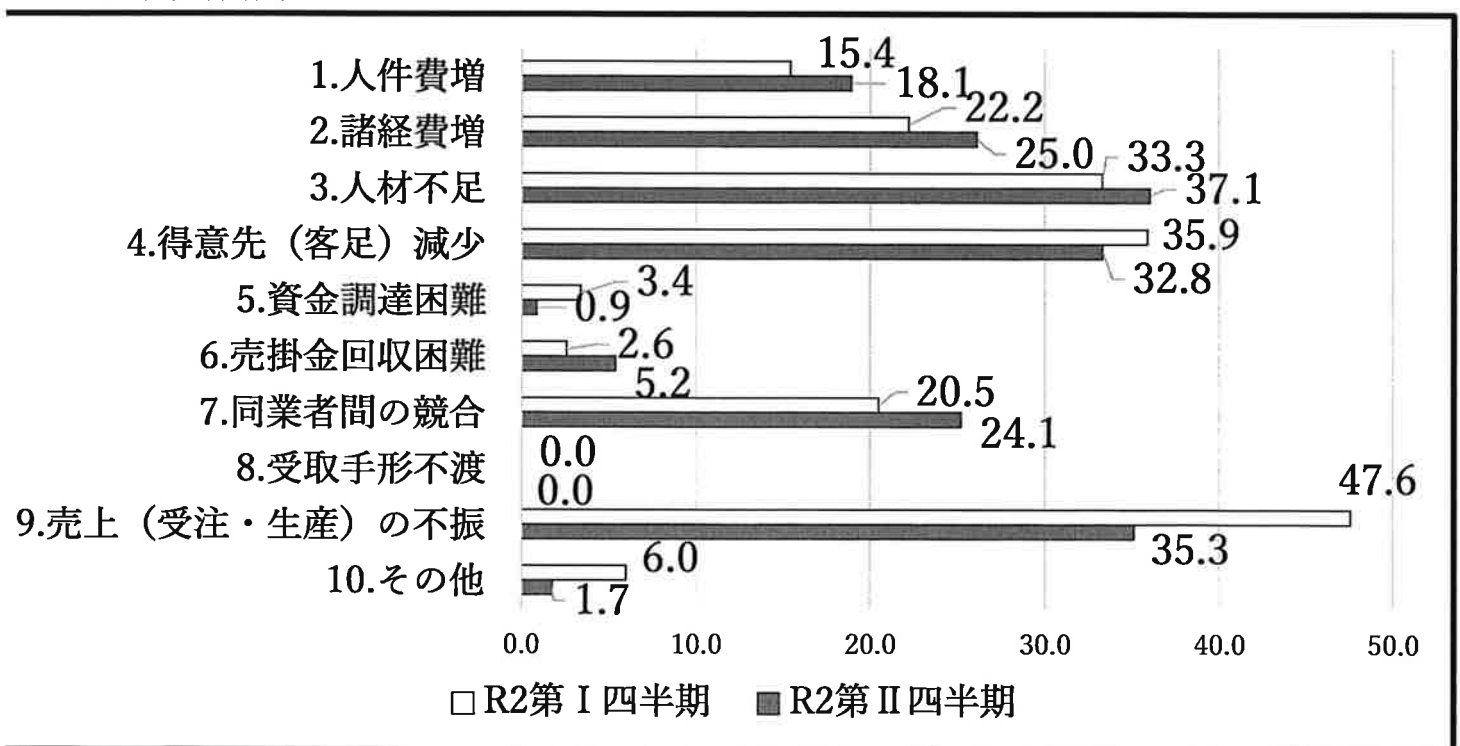


第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業種	1位	2位	3位	4位	5位
建設業	人材不足	諸経費増	人件費増 同業者間の競合 売上の不振	得意先減少	—
製造業	売上の不振	諸経費増	人件費増 人材不足	得意先減少	同業者間の競合
卸売業	売上の不振	得意先減少	売掛金回収困難	同業者間の競合	人材不足 諸経費増
小売業	得意先減少	同業者間の競合	売上の不振	人材不足	諸経費増
サービス業	得意先減少	諸経費増 人材不足 同業者間の競合 売上の不振	人件費増	資金調達困難	—
合計	人材不足	売上の不振	得意先減少	諸経費増	同業者間の競合

4-2. 回答割合(%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
した	11 件 42.3	6 件 31.6	1 件 7.7	3 件 10.7	7 件 23.3	28 件 24.1
していない	14 件 53.8	12 件 63.2	12 件 92.3	25 件 89.3	23 件 76.7	86 件 74.1
無回答	1 件 3.8	1 件 5.3	0 件 0.0	0 件 0.0	0 件 0.0	3 件 1.7
合計	26 件 100.0	19 件 100.0	13 件 100.0	28 件 100.0	30 件 100.0	117 件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	0 件	0 件	0 件	0 件	2 件	2 件
店舗	1 件	0 件	0 件	1 件	1 件	3 件
販売設備	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	2 件
車輛運搬具	5 件	1 件	1 件	2 件	1 件	10 件
付帯設備	0 件	5 件	0 件	1 件	3 件	9 件
OA 機器	2 件	1 件	1 件	1 件	1 件	6 件
福利厚生施設	0 件	0 件	1 件	0 件	0 件	1 件
その他	2 件	1 件	0 件	0 件	1 件	4 件
合計	11 件	8 件	4 件	5 件	9 件	37 件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(4件記述あり)

【建設業】

- ・測定器
- ・HP

【製造業】

- ・工具、備品

【サービス業】

- ・機械器具

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・人材不足。

【製造業】

- ・コロナウイルスで各行事やイベント、大会等が中止になり付随する印刷物がなくなり影響が大である。
- ・地元からの採用が出来ない。まったく採用できない。仕方なくコストの高い派遣社員を導入せざるを得ない。このまま、人口減が続くと、さらに雇用が難しくなり、将来に渡り、地域の活性化は望めないのではないかと不安である。他地域から人口流入してくる網走ならではの特色ある対策を講じないといずれ過疎化の問題が深刻化してくると感じている。
- ・厳しい時期だからこそ、食品製造業同士の横のつながりを持ち、この事態に対処していきたい。そんな繋がりを持てるような場面がほしい。

【卸売業】

- ・鮭の不漁による浜値高騰によって取り扱えない。帆立（網走産）水揚げ数量の減少に伴い割当の減少。カニの不漁による浜値高騰。
- ・コロナの影響が、他の業種と比較して少ないと思われるのが農業分野ではないか、というのがこの夏までの状況。多食産業の影響をこれから受けてくるのが心配。

【小売業】

- ・整備、新車の買い控えや在庫の減少などコロナの影響が徐々に出てきました。
- ・インバウンド依存を脱し、2時間以上の圏内客が増加しているのでそちらへのターゲットを変更。観光体験志向、網走川流域の自然資源を活用した、体験メニュー・ガイドメニューの開発を。
- ・8月、9月がかなり悪かった。
- ・本調査（景気動向調査）を早急にネット申告にしてほしい。
- ・中小企業に対する支援策をもう一度実施してほしい。

【サービス業】

- ・業界としてはGoTo効果にて好転に向かい、地域的にも動きが出てきている状況であるが、10月からの地域共通クーポンの発券管理（責任）事務処理が煩雑であり、他社分（取り扱い）も施設側での発券処理を求められており、実益も伴う反面、大変だという実感を終始している。
- ・3月4月5月6月に比べ7月8月9月は売上が前年比2割から4～5割弱まで回復してきています。肉料理に集中して最低限の人員で営業しています。内容的には少し良い方向に向いていると思います。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・喫茶店などのサービス業はカウンターを通して、様々な来客とコミュニケーションを取り、「また来てみたい」「ストレス解消の一助になった」などと思わせなければ、次がない。サービスを提供する側は常に心身の健康を維持し持続可能な喫茶店経営に勤めなければ…と。加齢による衰えは否めません。
- ・9月に入ってから観光・ビジネス客は増加（回復）の傾向が見られる。地元客の動きは鈍い。